

# 創立 25 周年

## 第 30 回

### 国際色彩診断治療研究会 福岡大会

# 抄 録

令和 5 年 11 月 3 日・4 日に開催されます、国際色彩診断治療研究会  
福岡大会にて発表される先生方の抄録です。

内容をご確認頂き、一人でも多くのご参加を頂けますようお願い  
申し上げます。

なお、この抄録は改めて本データとして、後日 UP させていただきます。  
発表される先生方の内容に、大きな変更はございませんが、若干の校正が  
入る場合がございます、ご了承下さい。  
取り急ぎご紹介させていただきます。

#### ▼発表者紹介(順不同・敬称略)

大会長 森崎 善喬(理事)	多彩な視点：色彩治療の可能性を広げる
箕田 さおり(理事)	脳関係カラーの活用と症例
長谷川 正継(理事)	矢野先生方式による『脳』の治療
池添 一仁	顎関節症と自律神経の関係
前田 勝洋	カラー治療による脳へのアプローチ
平 豊七郎	痛みの脳神経心理学
加島 道隆(理事)	固定概念をぶっ壊せ！
加島 栄一(会長)	色彩治療の経緯
姉川 滋幸	カラー貼付(使用)せず、 探索棒のみで治療を行う方法

※当日のタイムテーブルが決まっておりませんので、上記順は変更されます。

## 多彩な視点：色彩治療の可能性を広げる

福岡県北九州市　もりさき鍼灸治療院  
森崎 善喬

こんにちは、今年の大会長を勤めさせていただきます森崎です。

色彩治療は、その独自性を保ちつつ、東洋医学と西洋医学の要素を結び融合させたハイブリッドな治療に発展し、このアプローチは、色の力を通じて様々な疾患や症状に対する新たな視点から治療ができるのです。

よって今年の学会のテーマである色彩治療の多様性に焦点を当て、様々な症例を通じてその効果と可能性を発表いたします。

国際色彩診断治療研究会はさまざまな経験を持つ専門家の先生たちが色彩治療を通じて集まった研究会です。過去の経験や多種多様な治療法を通じて色彩治療に出会った先生方が多いのではないのでしょうか。

ぜひ先輩先生方の色々な経験、体験談をお聞かせください！

まだ入会の浅い先生方、ぜひ治療の悩みや発見、何でもみんなで共有させて下さい！

治療はしていないが研究会に期待し在籍している先生方、ぜひ私たちにご助力いただきますようお願いいたします！

若輩ながら今回の発表を通じて様々な治療を行っている先生方が今後の大会で発表できる環境を提供できればと思います。

多彩な視点を通じて多様性を持った研究会に今後発展していくことを期待しております！

## 脳関係カラーの活用と症例

米国カリフォルニア州 ロサンゼルス  
Koyama Chiropractic and Acupuncture Clinic  
箕田 さおり

色彩治療を始めてから 12 年になります。この 12 年間に少しずつカラーと探索棒を増やしてきましたが、今でも毎日活用しているのが初期の頃から持っている脳関係のカラーです。当時松山総会でお会いした矢野先生にご指導頂きました。

初めて受ける患者さんにしてみれば、大腿部(太もも)にカラーを貼ってどうして脳の治療ができるの？と半信半疑どころか全く理解できないでしょう。しかしカラーを貼り出した瞬間からパッと目が冴えて頭がスッキリしたり、首が楽に回せるようになったりするので驚く方も多くいます。

脳関係のカラーを活用することで思いもよらなかった疾患まで改善することがあります。頭痛、片頭痛は勿論、耳鳴り、めまい、首痛、肩痛から腰痛、生理不順などホルモンバランスの乱れ、心配症、不安症、鬱病、トラウマなど実際の症例と併せて幅広い活用法をご紹介します。

## 矢野先生方式による『脳』の治療

—これから色彩治療を始める先生のために—

東京都八王子市  
彩響堂はりきゅう院  
長谷川 正継

1. 矢野先生方式とは？
2. 矢野先生方式による色彩治療のテキスト『ザ・色彩医学』について
3. 『脳』の治療の意義
4. 矢野先生方式による『脳』の治療の詳細
5. 当院での症例

コロナ後、初めての総会となる福岡大会の1日目のコンセプトは色彩治療の原点回帰とのこと。色彩治療の原点とは、カラーを貼って患者がしっかり治ることだという、大会長・森崎先生の御意見に大いに賛成いたします。

そして、患者を治すためには、精度の高いパワーテストを身に着けることが何より重要なことも言を俟たないところであります。その為に、関東支部では以前から当会理事の矢野先生を招いて一人法パワーテストの習熟を目的とした勉強会を定期的で開催して参りましたが、更に初学者の便宜を図るため、この技法の体系化と教本作成の必要性を痛感し、矢野先生の快諾とご協力を得て、今年の2月に矢野先生方式による色彩治療のテキスト『ザ・色彩医学』を完成することが出来ました。

今回、私が発表する内容は、矢野先生方式による『脳』の治療です。

脳の治療と言うと、頭痛やめまい或いはメンタル疾患等をイメージされるかもしれませんが、パワーテストによって見えてきた現実には、首肩こり・本態性高血圧・眼精疲労・耳鳴り・難聴・原因不明の痛み等々、患者が訴える多くの愁訴の原因が『脳』にあるという事実です。

かつて私が学んできた日本伝統鍼灸(経絡治療)では、治療の根幹に『本治法』と言うものが存在します。それは脈診によって患者の五臓の働きを把握し、そのバランスを整える刺鍼を行うと言うものです。一方で、伝統鍼灸では患者の精神や知性の働きは五臓に宿ると捉え、『脳』へのアプローチはないに等しい状態であることに、以前から疑問を感じておりました。

現代が『脳』の時代であり、そこから多くの健康上の不調が生じていることは言うまでもないことでしょう。私が色彩治療、そして矢野先生方式に強く心を惹かれたのは、『脳』への有効な治療手段を持っていると言う点が大きく、私が色彩治療により傾倒する契機となった線維筋痛症の友人を治療出来たのは、この『脳』の治療のおかげでした。

伝統鍼灸の五臓論は、精神の働きが肉体(内臓)に影響を及ぼすことに早くから気付いていた点では慧眼ですが、現代人の生活実態を考えるに、五臓以上に『脳』の治療こそが現代の本治法として最重要の治療であり、それを可能とする診断治療の技術は色彩治療しか存在しないというのが私の持論であります。

今回の発表では、パワーテストによって見えてきた『脳』から生まれる健康上の不調と、その診断治療の具体的な方法、そして当院での実際の症例をご紹介させていただきます。これは臨床の現場で生み出され磨き上げられてきた実践的な技術であり、曖昧な点は一切ありません。気とか波動とか光とか愛とか…そういったファンタジックな話は面白いかも知れませんが、我々は作家ではなく治療家であり、必要なのはフワッとした理想などではなく、地に足の着いた具体的なノウハウであると考えています。そして、それを提供して行くことが現役会員離脱の減少と新規会員の獲得につながる、地味だが確実に方法ではないでしょうか。

最後に、家族の事情で今大会に直接参加できないことをお詫び申し上げます。また、そのような状況の中で録画による発表をしたいという私の我儘を叶えて下さった大会長並びに大会運営委員の先生方に深く感謝申し上げます。

## 顎関節症と自律神経の関係

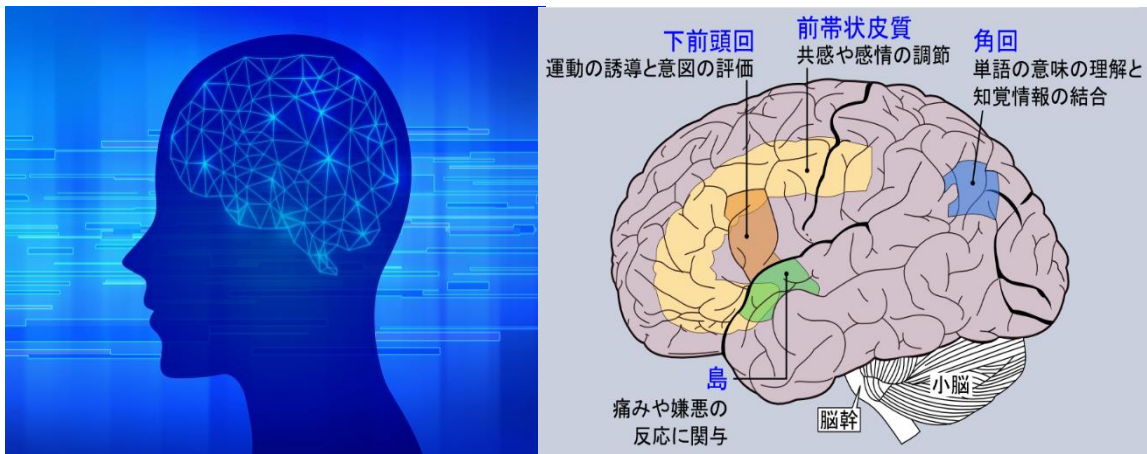
鹿児島県鹿児島市  
西田整骨院  
池添 一仁

顎関節は加島色彩研究所では線維筋痛症の特効穴として症例が上がっております。

「線維筋痛症」とは、3ヶ月以上の長期にわたって、身体のあちこちの広い範囲に痛みが持続したり、再発したりします。痛み以外に、身体の強いこわばりとともに、激しい疲労感、不眠、頭痛やうつ気分、物忘れなど多彩な症状を伴います。



線維筋痛症がどうして起こるかは、正確なことは現状では解っていません。しかし、線維筋痛症の痛みは、痛みのある部位に原因があるのではなく、痛みを、痛みとして感じる脳のネットワーク(回路)が過敏(中枢性感作)になっているとされています。



糖尿病や高血圧などのような強い遺伝性(素質)はないとされてはおらず。むしろ、発病には家庭・社会環境(外的環境要因)が重要とされています。



※引用

画像からみるように島の部分で「痛みや嫌悪の反応に関与する」事が多く、顎関節に近い部分で影響があると推測されます。

次頁

I型 咀嚼筋痛 障害

II型 顎関節痛 障害

III型 顎関節円板 障害

a: 復位性 b: 非復位性

IV型 変形性顎関節症

V型・・・精神的な影響

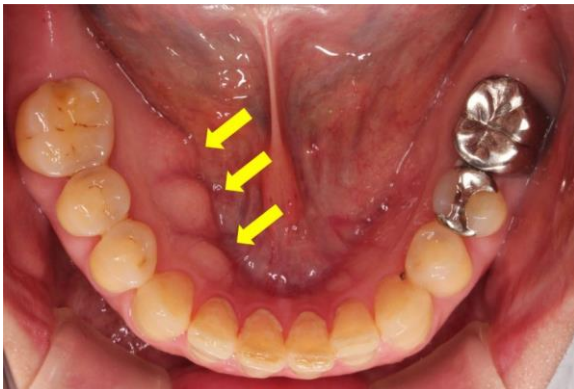
食いしばりによる圧痕として



「舌圧痕」



「頬圧痕」



「骨隆起」

脳からの影響や食いしばり、  
自律神経の関わり等、  
どのように考察していくのが  
大事かと思われます。



## カラー治療による脳へのアプローチ

長崎県諫早市

Wa 整体院

前田 勝洋

本発表では、整体院の臨床現場におけるカラー治療と髄膜炎のテスト法を用いた脳へのアプローチ方法を紹介する。

通常、カラーを貼った直後は症状が取れるが、短時間ですぐに症状が復活してしまう患者も多くいる。そこで、髄膜炎のテスト法にヒントを得たアプローチを導入した。そのアプローチとは、カラー貼付後に反応点及び頭部に反応がないことを確認した後、座位で頸部を前屈し、左右に首を振らせ、再度頭部に対してパワーテストを行う。新たに反応が出た場合は、カラーを貼り、反応が無くなるまで同じ手順を繰り返していくものである。

上記のアプローチ方法は、従来のアプローチ方法に比べ、仕上がりが良く、少ない回数で治療を完了することが可能である。また、このテスト法を行う事で、脳が原因と思われる症状が改善している事が患者も実感でき、カラー治療の効果を患者が実感しやすいという利点がある。

25th anniversary

## 痛みの脳神経心理学

鹿児島県大島郡  
喜界島色彩整骨院  
平 豊七郎

痛みには、からだの不調や危険を知らせる警報としての重要な役割がある。不快で嫌なものである反面、私たちの生命を守るための防御機能という側面も持っています。人は痛みがあるからこそ、生命をおびやかす危険をいち早く察知し、回避できるのです。

国際疼痛学会は痛みを疼痛と呼んでいる。疼痛の定義は「組織損傷を受けた時の不快な知覚や情動体験」としている。では、痛みによるストレスとうつ病などの脳神経心理学に及ぼす影響について発表させていただきます。



## 固定概念をぶっ壊せ！

愛媛県松山市  
株式会社 K.CTL7 東洋温熱色彩堂 道後院  
加島 道隆

近年の治療を通して、自分自身の固定概念をいくつも覆されたので、その内容を発表させて頂きます。基本的にはどのような治療方法を行っているか、その時の考え方や手技の方法などを伝え、それらの方法を使用した症例報告がメインとなります。

今までの治療法は症状を確認して、それに関する探索棒を見て、疾患や原因の特定を探索棒の名前で決めていました。その方法だと、確認出来る範囲が限定されてしまいます。アレルギー疾患でも、自己抗体が原因な場合と、腸や自律神経・食べ物等と様々な原因があります。もし、それを全て見ようとすると各種類の探索棒を集めて見るという形になり、とても時間がかかります。その為、新しい方法に辿り着きました。

ある先生のアドバイスにより、パワーテストのみで患者様の身体的原因を追求する方法をご教授頂きました。それは患者様に YES or NO の問い掛けをし、パワーテストを使い判定を行う方法です。例えば小麦が原因か YES で反応すれば反応あり、NO で反応すれば反応なしとなります。この様にすることで原因の追求がどこまでも出来る様になり、治療の幅が大きく広がりました。そこから今までアレルギー疾患に対しての原因や症状の改善もかなり変わりました。

また、癌関係に関しても、変化のスピードや抗がん剤に対する副作用の軽減が大きく見られる様になった為、そちらを今回の発表でお伝えしたいと思います。

結論と致しまして、パワーテストの必要性が以前より格段に上がり、パワーテストの精度によって結果は変わり、治療効果も違います。又、制限して欲しいものや事項なども的確に伝えられるため、回復が早くなりました。

## 色彩治療の経緯

愛媛県松山市  
加島色彩研究所  
加島 栄一

加島針灸院(加島色彩研究所)は創立 60 年以上の歴史を持つ針灸院です。国際色彩診断治療研究会を当院の前院長加島春来が 1998 年に設立しました。会員構成は医師・歯科医師・薬剤師・看護師・理学療法士・柔道整復師・鍼灸師・マッサージ師等で構成しています。

海外では、台湾・中国・ロサンゼルス・ハワイなどでも活動しております。今では世界でも行われている治療法となっております。色彩治療に関しての本も御座います。

「驚異のカラー治療」1998 年 たま出版社発行 (絶版)

・著者 加島春来

「革新的統合医療-色彩診断治療・波動療法・東洋医学」

2014 年 6 月 株式会社講談社エディトリアル発行

・著者 廣田稔/廣田曄子(医師)

### 色彩治療誕生の経緯

鍼や灸師の治療を私で三代にわたり行って参りました。そして先代の父加島春来により相談を持ちかけられ、当時トポロジー学会と言って北里大学教授の間中喜雄先生の会がありその中で色の波長や音などで治療が出来ることの講演がありました。

色の波長で治すことができるならこの色を細胞レベルで見つけて行くのに生地屋さんに行って、細胞のプレパラート片手に、先代の院長は波長が同じ物の生地を買って帰り、それを患部やツボに貼って効果を見ていくと確かに楽になります。

この色を見つけに行くのは大変なので、キャノンプリンターで色を正確に出す機種を選び色の見本から、一つ一つ見つけてはデータに残して今は 2 万色の細胞レベルの色が見つかっており今後も増えていくでしょう。

### 色の波長は皮膚によってどの様に作用されるか

① 人を構成している細胞固有の原子レベルでは、それぞれの固有の周波数があります。

- ② 色の波長を同調することによって固有の細胞レベルに影響を与える事になります。
- ③ 皮膚のケラチノサイトによって温度や圧力・色・光・音迄も感じ取ります。
- ④ 皮膚のケラチノサイトが脳神経に伝えて組織に影響します。
- ⑤ 東洋医学に関する経絡経穴も存在しますので、臓器や関連組織に影響を与える事になります。
- ⑥ 表皮と神経血管など、情報の流れが形成されます。

### 色彩診断治療とは

パワーテストによって色の波動エネルギーと細胞の波動エネルギーの一致した CMYK の色の基準であるシアン・マゼンタ・イエロー・ブラックを各何%配合するかという正確に近い色を再生して、その細胞レベルと同じ波長の適合した色を見つけて、それをツボや患部に貼っていきます。

それを確認するのにパワーテスト、基本的には親指母指腹と示指尖端で 0 リングを作り、この位置が±0 の位置とし検査していきます。

### パワーテストの診断法

診断方法として中指の先端部を頭部の百会としてとらえます。百会とは東洋医学に経穴で言う全経絡の集合点とされます。この部分を使って身体全体の診断点として代用します。

そこに探索棒といって、細胞レベルの波長をとらえた物と同じカラーの波長を入れた探索棒を当てて、身体全体のどこかに同じ反応のある物が有れば筋力が低下して、探索棒を当てた指尖百会の反応がパワーテストの指を開く様になります。

### パワーテストの反応機序とは

人体のあらゆる異常部位は正常異常部位とは違う電場及び磁場を持っています。

身体の異常部位に対して、軽度の機械的圧力や光、電場、磁場を使ってその知覚神経を刺激すると、脳の中央までその刺激が伝わります。

この時全身のどの部位に異常があっても、同じように身体が拒否反応を起こし筋力が低下しリングが弱くなる反応が起きます。

### 探索棒は診断に必要な器具

探索棒は細胞レベルで作られたカラーが中に挿入され、15cm の長さに統一されております。

探索棒で反応のあったカラーは、その場でツボや反応部位に貼る事により治療が完成します。

診断即治療と言う特典が色彩診断治療の良いところです。

カラーを貼ることにより症状が改善され、効果は症状や慢性化された物について10日ぐらいは貼っておけるので有効です。

### 色の波長は細胞組織に対し同じ波動を与える

波長が細胞と干渉して正常細胞に変化します。

このことにより細胞レベルでの波長が、なぜ大切かが解ります。

この皮膚に貼付したカラーは、皮膚がその波長を捉えて各組織に伝え、これがケラチノサイトと呼ばれる部分で伝播されます。

皮膚には脳と同じ働きをする、音や光・温度・湿度等の感覚器官が備わっています。

### カラーで治療出来るもの

カラー治療で治療出来る疾患は全ての細胞になります。

この細胞に必要とされている全てにカラーを色の波長に置き換えて、炎症・痛み・細菌類・ウイルス・血管の石灰化・アレルギーなどを波動で治療することができます。

### 色彩治療の利点

- ・色彩治療は人体に負荷が少なく、弱電界の治療になる為、副作用がほとんどありません。
- ・反応の数（疾患部位）が多くても全て治療が同時に出来ることです。
- ・刺激の量が多すぎてドーズ過多になることが少ないです。
- ・子供から大人まで安心してかかれる治療となります。
- ・痛みなどは的確な部位反応を捉えればその場で治ります。
- ・カラーチップの大きさは1.5mm 角のチップを1cm 角の絆創膏で各反応点に貼るだけです。

是非色彩治療の効果を体験されてみて下さい

詳しいことはお近くの色彩治療をされている先生にご相談ください。

## カラー貼付(使用)せず、探索棒のみで治療を行う方法

滋賀県彦根市  
姉川鍼灸整骨院  
姉川 滋幸

当会発足からお世話になり諸先生方から数々の発表や情報を学ばして頂き、数多くの症例を経験させて頂きました。

膨大な探索棒やカラー、貼付するポイントに対応する力量による治療効果の差も痛感致しました。

色彩治療でも鍼灸でもツボに刺激を与えておりますが、一体ツボや反応点とは何？

メカニズムは難解だが全て神経や経絡を介して脳に刺激を与えているのではないか？

最近腸内環境も脳に多大な影響を及ぼし疾病を引き起こす研究が発表されております。

生涯の師である春来先生の色彩治療から始まり BDORT、気診、バイオレゾナンス、テラヘルツ、トライアングル感叉療法と多くの出会いがありました。

遠隔治療、催眠術、予知能力、虫の知らせ、全て脳へのアプローチです。

手掌、足底、頭皮、耳穴、井穴で治療効果が有るならば脊髄神経の根元を介して脳に刺激を？

そんな経緯の中、12年前からパソコンの60,000以上のデータベースに基づき、アレルギーや過敏症その他の治療も行なっております。膀胱系の背部に刺激を与えるだけの治療です。

当院は2人パワーテストが基本のカラー治療ですが、たまに皮膚の被れが強くなるカラー貼付不可の患者がおられるのが悩みの種でした。

以前、春来先生がツボに探索棒を直接ポイントの皮膚に接触するとか探索棒を手で握るだけの治療効果、ゼリーパックの効能を伝授して下さいました。

岩渕先生の試みや理論も勇気を頂きました。

その様な経緯でカラー貼付をせず、探索棒を患者に握ってもらい背部の膀胱系刺激という試みを10年前から始めました。

<特性>

①皮膚の被れや過敏な方。

- ②比較的軽い症状の方。
- ③乳児や小学生の子供達へのアプローチがし易い。
- ④治療の簡素化。
- ⑤思い当たる探索棒を全てパワーテストして、反応穴を探す事なく治療を始められる。
- ⑥生命エネルギーの滞り(エネルギーティック・プロクード)の解消。
- ⑦心の安定。
- ⑧リラクゼーション、ストレスの解消。
- ⑨身体能力、知的能力のアップ(いわゆる発達障害や自閉症の子供)。

#### <課題と考察>

- ①痛みの治療効果は約一週間前後。
- ②治療効果が低く、カラー貼付追加の必要性が出てくる場合がある。
- ③自律神経疾患、老化による痴呆、子供の発達障害や自閉症には大きな効果が認められる。
- ④思い当たる探索棒を全てパワーテストして、反応穴を探す事なく治療を始められる。
- ⑤何回か治療を繰り返す事により、脳への刷り込み効果(定着)が考えられる。
- ⑥基本的にはカラー貼付治療が基本で難しい症例に対するアプローチ数が少ない為、何処まで効果や持続性があるかは未知数である。